



「コミュニティユニオン東京」ニュース N0108号 2019年1月15日  
 170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館 1F  
 TEL 03-3946-9277 FAX 03-5395-3242 E-mail staff@cutokyo.jp  
<http://www.cutokyo.jp> 「こみゅーと」ラテン語「流れを変える」  
 「こみゅーと」バックナンバーをホームページで読めます

# CU東京10周年・感謝のつどい

## 1320人を祝う

2018.12.15 けんせつプラザ東京



12月15日 感謝のつどいのオープニング 渋谷の団結マーチ

### 「一人一人の労働者」に寄り添って活動



冒頭に挨拶に立った小倉委員長は「働く者の尊厳を守る、駆け込み寺・CU東京は、秋の拡大で140人の組合員を増やし、1320人の組織に到達した。今、CUの役割は、市民から信頼され期待される段階に発展

しつつある。「一人一人の労働者」に寄り添い活動するCUの運動に貢献された役員の皆さん、運動を支持・協力いただいた、団体、協力組合員の皆さん、CU東京の活動を支え、奮闘いただいたことに、心から感謝申しあげ、CU東京は「非正規雇用が当たり前前の時代」、「個別的労使紛争が多発する社会」の情勢に対応した新しい労働運動として、活動経験を蓄積してきた。2019年は、「歴史的な岐路」の年、CUは、「野党と市民の共闘」に参加し「参院選」に勝利し、「9条改憲阻止」「憲法の理念」が実現



乾杯発声の初代委員長市瀬さん、左・元書記長関根さん

する社会を目指す。「働く労働者のよりどころ」となるCU東京の拡大・強化に向けて、引き続きご支援ご協力を訴えました。

〈挨拶から抜粋〉

### 《来賓みなさんから激励挨拶》



全労連・橋口副議長は多くの労働組合が組織率を下げている時、連続して前進し1300人を超えたこと敬意を表したい、2019年は労働組合の役割はますます大きい、力合わせ奮闘しようと呼びました。（左は仲野常任幹事）



東京地評・松森事務局長は、「駆け込み寺」の活動の役割を全都で発揮していることを評価、存在感が高まってきているとのべ、2019年に1500人実現、さらに3000人めざす奮闘を激励しました。



東京土建・窪田副委員長は、結成の時から、物心両面で支援してきた。同じ個人加盟地域労組として、東京土建もスタートは数十人だった。建設現場は現在も大変な状況が続いている。11万人に70年かかった。CU東京が57人から1320人になったことお祝いしたい、さらに飛躍的に前進をと連帯の挨拶をのべました。

## 個人加盟地域労組から連帯のあいさつ 争議勝利の仲間からの声 2018.12.15 続報

### 《来賓みなさんから激励挨拶つづき》



日本共産党・山添参議院議員がかけつけ、ブラック企業の追求、最賃問題など取り上げてきたこと、CU東京の活動に最初から注目してきた。今年は選挙の年、政治を変え、働く人の権利を守るためともに頑張りたいと挨拶しました。とや都議会議員も参加挨拶しました。



【個人加盟労組から】新宿一般労組・鈴木書記長は、昨年、介護ユニオンを立上げ奮闘し、念願の60人を達成した。新宿区はデモ規制する、公園使用の禁止などの動きあり、今日も急遽、公園で集会開いている。ともに頑張りたいと述べました。



SU埼玉・中山書記長は、埼玉も頑張っている。新しい支部も二つ増えた。全労連共済の活用、サポート組合員制度などつくった。組合員を埼玉でも増やし、大きくしていくとのべました。



神奈川地域労組協議会・神田副委員長は、神奈川の活動と闘いを紹介、連帯の挨拶をのべました。

全労連・元議長坂内さんは、現在、CU三多摩協議会の相談役。日本の労働運動を振り返り、組織が減少している中、日本の労働運動の弱点を克服する活動が必要、CU東京に期待している、一緒に力を尽くしたいとのべました。



つどいには、東京社保協、東京母親連絡会はじめ労組、民主団体からも参加いただきました、(来賓の参加者は別項に記載)

### 《たたかいの仲間も参加・挨拶》

関川さんはバンド仲間と演奏



関川さんはこうこの組合員、第一興商(ビックエコー)のパワハラ・残業代未払い問題争議、和解勝利。仲間の争議を支援したい、組合に恩返ししたいとこの日、仲間と出演。ジャズナンバーを披露しました。

ユニオンちよだの白林さんは中国舞踊を



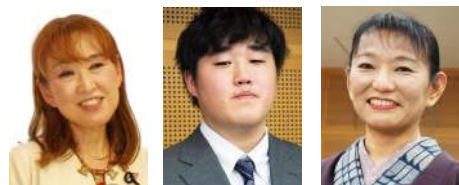
白林さんは大手建設会社で働きながら一級建築士をめざす中、職場のパワハラ・セクハラとたたかい、和解勝利。中国舞踊に多くシャッターが切られ、拍手喝采でした。

テーブル席からの発言では、文京の矢内さんが直前に和解解決の報告、こうとうから、3年を超えるたたかいの青木さんの和解解決の報告がされました。(別項に記載)

### 12.15CU東京10周年・感謝のつどいに全支部から参加、交流深め決意固めて



全支部から参加、発言。組合員拡大経験、労働相談の紹介、争議のたたかいなど奮闘が紹介され盛り上がりしました。川村副委員長(下・写真右)が閉会あいさつ、消費税10%阻止、選挙勝利を呼びかけました。平山副委員長(写真左側)の手締めで終了しました。司会は寺川副委員長(左)、松井執行委員(中央)、



文京の湯本書記次長(右)が務めました。



## 12・15感謝の集いへの報告（骨子）

新しい労働運動の一翼担う 高木書記長

秋の140人拡大で10周年を祝うことができた。組合の最大の課題、「駆け込み寺」の活動は、1年間に346件に込め存在感を示してきた。1320人の組織の前進は、活動に厚みと広がり、新たな展開がつけられている。この前進はこんな活動がしたい、こんな強化したいなど、新たな意欲を生んでいる。

「非正規があたり前」の中、役割は大きい。CU東京への理解を広げること重視してきた。

結成から5年で13支部に、その後の5年間で三多摩協議会と中野支部が結成された、前半で支部が増え、後半5年で支部組織が大きく前進した。

1500人は2019年に実現したい。そして3000人に挑戦していく。3000人は単純にみて倍化。

社会的要請に応じていく、可能性はある、新しい労働運動の一翼を担う気概を持ち、力合わせ挑戦したい。

ひきつづきご支援・ご協力を訴えて報告とします。



## 日本ヒューレット・パッカード

### 派遣切り事件

### 2018年12月14日、東京地裁で和解成立



青木さんは、江東区大島にある日本ヒューレット・パッカード（以下HP）に直接雇用されたのち、HPの都合で、マンパワーの「派遣」となり、13年間仕事をしてきましたが2015年

4月30日付で解雇されました。青木さんは2002年に日本HPに直接雇用の労働者（時給2200円・交通費別）として採用され、業務用プリンターのトラブル苦情処理の仕事をしてきました。ところが04年9月に、HPはマンパワーに依頼しマンパワーの派遣社員としてHPに派遣されるようになりました。さらに09年からはHPからマンパワーに対して、事業所の内部に㈱KSKの事業部なるものを置き、そこにマンパワーから派遣される形に変更するよう依頼。実際にはKSKの事業部は存在せず、違法派遣の形態でした。この間、業務内容も賃金も全く変わらず（「派遣」の形態に変更したときは、交通費込みの時給2360円）に働いてきました。

13年3月に一度雇止めの通告を受けましたが、その際に違法性を指摘され、東京労働局需給調整事業部に申告を行いました。東京労働局はHPを指導し、マンパワーの派遣社員としてHPへの派遣が継続されました。そして今回の再度の雇止め＝解雇です。マンパワーの説明によれば、HPが10月に分社化を予定しており、業務の社内化を図ることと業務量が縮小していることをあげました。しかし、青木さんの業務量は全く減っておらず、一番困難なトラブルをいつでも処理していたのは青木さんでした。そもそも青木さんはHPに直接雇用され、HPの都合で派遣会社に登録して派遣社員としてHPに派遣され、今日に至るも全く同じ業務であり、賃金も同じです。この働き方はもはや「派遣労働」とは似ても似つかぬものであり、この契約は職安法44条違反の労働者供給事業だとして、この派遣契約は無効であり、HPに雇用責任があるとして、HPに対して解雇無効・地位確認の訴えを2016年3月31日に東京地裁に提訴しました。そして、2018年8月末から9月初めにかけて証人調べが行われ、そのあと東京地裁が和解を勧告、数回の和解協議を経て2018年12月14日、東京地裁で金銭の和解が成立しました。

## コミュニティユニオン東京10周年へのメッセージ

コミュニティユニオン東京の結成10周年を心よりお祝い申し上げます。2009年結成以来、低賃金や解雇・雇止めや労災など、首都東京の様々な労働問題で解決を求める人達の『駆け込み寺』としての役割を果たされ、結成時の20倍を超えて前進していることは、労組組織率が低迷する中で、驚異的な出来事であり、東京と日本の働く者にとって大きな励みです。

貴ユニオンが、労働者の権利と雇用を守る闘いをさらに広げ、5倍10倍の組織へと発展され、安倍政権の『働き方改革』転換と憲法改悪・社会保障の切り捨てを許さない国民的共闘の前進へ、その力を存分に発揮されますよう祈念いたします。

とりわけ、来年のいっせい地方選挙と参議院選挙は、悪政転換の絶好のチャンスであり、私も全力を挙げる決意です。ともに力を合わせましょう。

2018年12月15日

日本共産党書記局長

参議院議員 小池 晃



■12/15 10周年のつどいは大きく成功させることができました。来賓・組合員みなさんにあらためてお礼申し上げます。■こみゅーとは組合員、多くの協力者を結ぶ。今年も声を届けていきたい。ご協力をお願いします。

## 組合員交流会 23人参加 牡蠣のガンガン焼き



CU文京支部は、春と秋に組合員交流会をおこなっています。春はバーベキュー、秋はいろいろ工夫して

いますが、今回は12月7日に石巻市出身の組合員の発案で、浜から新鮮な牡蠣を仕入れ、組合事務所（文京区労協の事務所）を使い「牡蠣のガンガン焼き」パーティー。組合ニュースで2回お知らせ、来すぎると事務所に入りきれないなあと心配しながら、当日を迎えました。

こうした集まりにたびたび顔を出す常連さんも生まれ、23人参加で大いに盛り上がりました。牡蠣を次々たிரらげる猛者（男性ではありません）もいたそうですが、区労協専従者が作る「これは旨いですよ〜」という漬物、文京支部書記長が訳ありで仕入れる「スープ餃子」、山形県に引越した組合員が自ら釣って燻製にしたイワナ等々盛りだくさんの料理に皆満腹。

普段は顔を合わせない組合員同士、こんな場でおしゃべりするのが、きずなを深める良い機会に。一度も出た事のない組合員も多数いるのですが、一度来てみれば、それ以降は無理なく参加できます。初参加の人も来たくなるような企画を考えたいものです。 山田三平記

## カラオケレク、歌ったり・食べたり・飲んだり、忙しかった カラオケレク15人参加 CU品川



12月9日、日曜、五反田のカラオケ店でCU品川の初めてのカラオケレクを15名で開催。

企画は、組合員のIさん、Uさんが「やりたい」と

要求していたもの、宴会コース3時間で一人3500円を申し込み、組合の補助とUさんのカンパで、楽しく出来ました。池野委員長の「組合員拡大も目標を達成、今日は忘年会も兼ねて大いに歌い、楽しみましょう」の挨拶と乾杯があり、早速、最高齢79歳のHさんが「清水次郎長」をうなり、次から次と皆が歌い出しました。料理も来るのですが、飲むのと歌うのに忙しく、特にIさん、Uさんは飲み物注文とリクエスト入力で忙しく、食べる暇もなく、落ち着いたのは1時間半たってから。一通り歌うと、自分の実力が分かり、皆さん曲を良く選び歌いました。皆上手で聞き惚れる場面も。Iさんはボンゴを持ち込みリズムよく歌っていました。

まだ歌いたいなと思う人を振りきって、佐藤書記長の「今日の勢いで、10周年の15日まで、組合員を増やそう」と訴えがあり、1人1人にニュースと組合パンフ、春闘集会チラシの封筒を渡し終了。ところが、物足りない10人が、同じビルの居酒屋に消えていきました。秋の組織拡大で7人増やし、目標6人を超過達成しました。

### 19国民春闘総決起集会

2019年1月30日（水）19時

杉並公会堂

かちとろう大幅賃上げ、働き続けられるルール

### CU東京10周年・感謝のつどい来賓参加者名

ご参加ありがとうございました。

全労連 橋口副議長、仲野常任幹事地評 東京地評 松森事務局長 東京自治労連 椎橋副委員長  
東京土建 窪田副委員長、唐澤・渡辺常駐常任中執 SU埼玉 中山書記長  
神奈川地域労組協議会 神田副委員長 新宿一般労組 鈴木書記長 阪神土建 足立執行委員長  
江戸川区労連 宇田川議長 千代田区労協 茂呂常幹、小番常幹 東京土建葛飾支部 益子副委員長  
東京土建江東支部 内藤書記次長 東京土建足立支部 中島常任執行委員 きかんし印刷労組 大城執行委員  
CU東京顧問 鷺見弁護士（ほかに1名） 八王子合同法律事務所 白根弁護士（CU三多摩顧問）  
三多摩法律事務所 平弁護士 日本共産党 山添拓参議院議員、前田東京事務所長、大槻小池晃参議院議員秘書、  
とや都議会議員、近藤都委員会労働部長、島田練馬区議、森田東大和市議 東京社保協・寺川事務局長  
東京母親大会連絡会 木原委員長、皆内事務局長 CU東京元役員 市瀬元委員長、関根元書記長  
（株）桜保険事務所 中村所長、佐藤副所長 （株）きかんし 大塚課長、柳沢課員  
（株）日本共同システム 八森部長 前進座 俳優・柳生啓介氏  
（当日、ご挨拶・ご紹介いただけない方が出てしまいました。お詫びいたします。）